

プロピリスルフロ
ン
ピラゾレート

2成分

チャンスタイム[®]Z

水稲用初・中期一発処理除草剤

フロアブル
1キロ粒剤

チャンスタイムZは 北海道の水田雑草と 全力で闘います。

チャンスタイムZフロアブル、1キロ粒剤は北海道の水稲農業に適した除草剤を目指し開発されました。ウリホスにも含まれるピラゾレートは近年増加傾向にあるミズアオイに、プロピリスルフロンは多年生カヤツリグサなど幅広い雑草に効果的です。また、少成分ながら高い殺草効果を発揮しますが、薬剤の付着による薬害リスクが小さい薬剤です。

[目次]

●チャンスタイムZの特長と事前準備	1
●チャンスタイムZの上手な使い方、登録内容	2
●チャンスタイムZの除草効果について	3
●各種試験成績	4~7
●薬害について	8~9
●注意事項	10

ピラゾレート

一年生広葉雑草、
ミズアオイに高い効果

2成分

プロピリスルフロン

ノビエを含む一年生雑草、
多年生カヤツリグサ科雑草等に
優れた除草効果

特長

- チャンスタイムZは、ピラゾレート(4-HPPD阻害)とプロピリスルフロン(ALS阻害剤)を含む2成分の初・中期一発除草剤です。ピラゾレートはミズアオイをはじめとした広葉雑草に、プロピリスルフロンはイネ科・広葉雑草の幅広い草種に優れた効果を発揮します。
- 特別栽培やYES!clean(成分数に制限のある栽培)などに有用な2成分の除草剤ですが、ノビエをはじめSU抵抗性雑草や多年生雑草に高い効果を示します。
- チャンスタイムZフロアブルは付着による薬害リスクが小さく、ノズルによる散布が可能です。
※バッテリー式散布機を使用する場合、種類によってはヒューズ切れ、モーター焼けなどの故障を起こすおそれがありますので注意してください。

水田の準備 (以下の点を確認し、薬害リスク低減と健全な水稲の生育を心がけましょう)

- 排水対策**…排水性の小さい圃場は乾燥が遅れ、地温の上昇を阻害します。暗きよの施工や前年秋の溝切り、心土破砕や融雪剤の散布を行いましょ。また、漏水が大きい圃場は畦を強化しましょ。
- 健全苗の育苗**…徒長苗は活着、分けつ力が通常の苗よりも劣ります。また育苗日数の延長は老化や異常な早期出穂の原因にもなるため注意が必要です。
- 耕起**…耕起を行い、地力窒素の発現に努めましょ。また、耕起は肥料混和、有機物のすき込み、雑草防除の点において効果的です(加湿条件下における耕起は透水性を悪化させるので、耕起する際は乾燥して碎土性を高めてから行いましょ)。
- 代かき**…代かきを行い、田面の均平化や移植苗の姿勢保持、雑草の発生抑制に努めましょ(過度の代かきは土壌還元の助長や透水性悪化に繋がるので注意が必要です)。
- 移植**…深植えを避け、深度は約2cmを心がけましょ。また、移植後は低温などから稲を保護するため葉の上位葉まで入水し、活着後は水温を上昇させるため浅水管理を行いましょ。

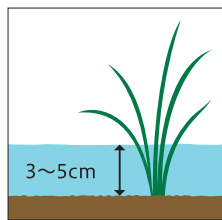
上手な使い方

使用時期

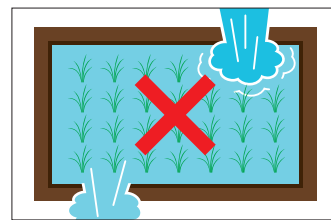
代かきから移植までの期間は長くおかず、移植後5日からノビエ2.5葉期までに、所定の薬量を散布してください。



散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）で散布してください。また極端な浅水や深水での使用はさけてください。



散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



チャンスタイムZフロアブル 登録内容

農林水産省登録 第23249号

■成分 ピラゾレート…34.0% プロピリスルフロン…1.55% ■人畜毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当たり 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ オモダカ ヒルムシロ エゾノサヤヌカグサ	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで (ただし、 砂壤土はノビエ 2.5葉期まで)	砂壤土 } 埴土	500ml	原液 湛水 散布	2回以内

【総使用回数】ピラゾレート：2回以内、プロピリスルフロン：2回以内

チャンスタイムZ 1キロ粒剤 登録内容

農林水産省登録 第23364号

■成分 ピラゾレート…20.0% プロピリスルフロン…0.90% ■人畜毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当たり 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ オモダカ ヒルムシロ エゾノサヤヌカグサ	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土 } 埴土	1kg	湛水 散布	2回以内

【総使用回数】ピラゾレート：2回以内、プロピリスルフロン：2回以内

※いずれも平成26年9月現在の登録内容

●チャンスタイムZフロアブル：登録認可 H25.3.27、病害虫雑草防除ガイド記載済 ●チャンスタイムZ1キロ粒剤：登録認可 H25.10.9、病害虫雑草防除ガイド記載済

チャンスタイムZの除草効果について

チャンスタイムZは、以下の雑草に対して高い効果を期待できます。



ミズアオイ



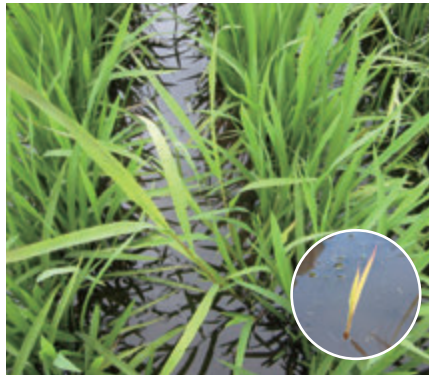
ホタルイ



アゼナ



オモダカ

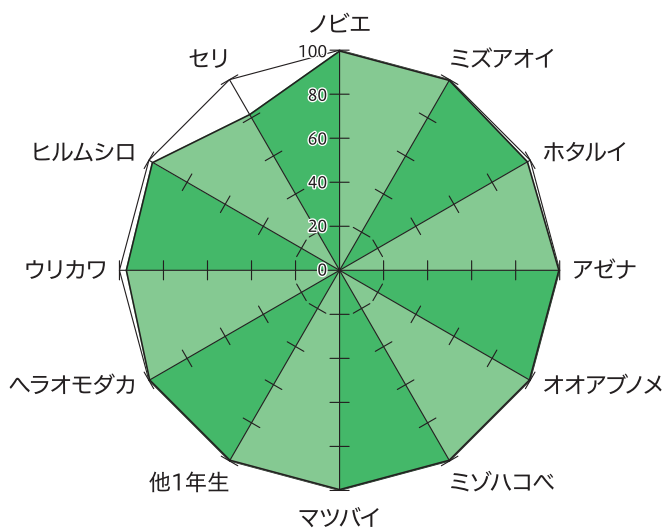


エゾノサヤヌカグサ

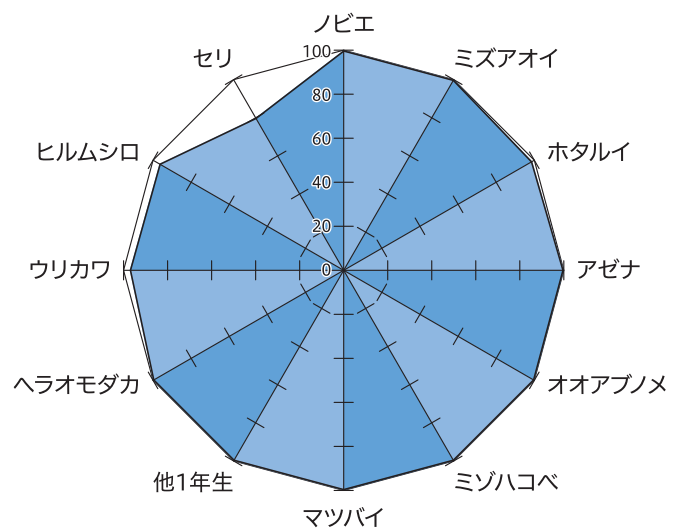


ヒエ

除草効果(チャンスタイムZフロアブル)



移植5日後処理



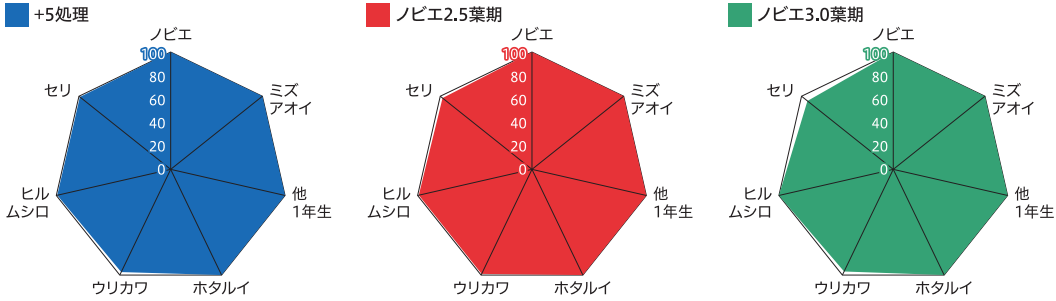
ノビエ3葉期処理

※社内試験成績より

各種試験成績

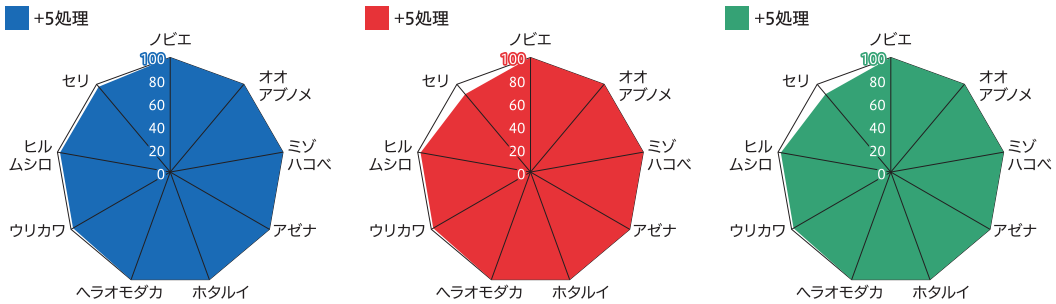
委託試験成績

■チャンスタイムZフロアブル 平成23年 中央農業試験場



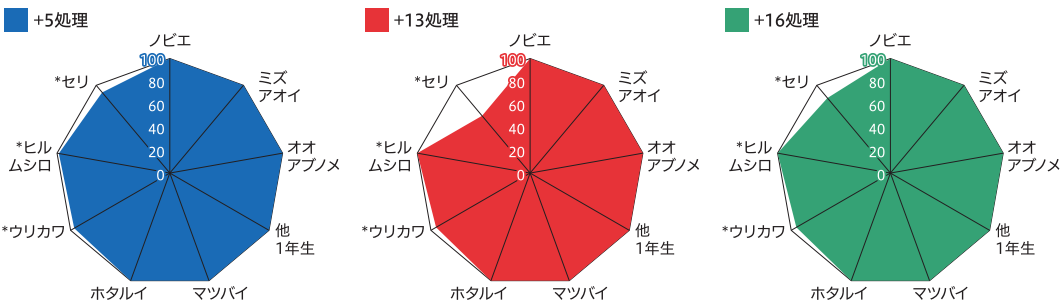
- 品 種/きらら397
- 代かき日/H23.5.16
- 移 植 日/H23.5.19
- 調 査 日/H23.7.8
- 土 質/沖積・埴壤土
- 備 考/葉類・表層剥離を除く
草種に対して除草効果は高く、葉害は軽微である。+5処理～ノビエ3葉期処理まで実用可能である。

■チャンスタイムZフロアブル 平成23年 植調上川試験地



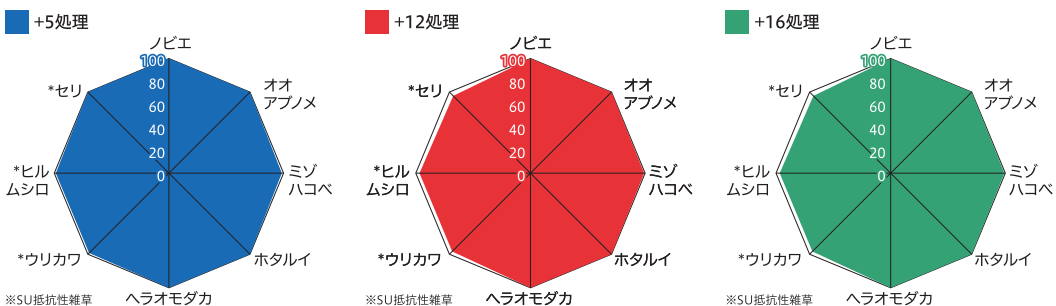
- 品 種/ほしのゆめ
- 代かき日/H23.5.17
- 移 植 日/H23.5.25
- 調 査 日/H23.7.22
- 土 質/沖積・砂壤土
- 備 考/+5処理～ノビエ3葉期処理でSU抵抗性ヘラオモダカ、アゼナ、オオアブノメ、ミゾハコベを含む各草種には除草効果が高く、葉害の症状は軽微なことから砂壤土の適用は可能である。

■チャンスタイムZ1キ口粒剤 平成23年 植調北海道試験地



- 品 種/ほしのゆめ
- 代かき日/H23.5.18
- 移 植 日/H23.5.24
- 調 査 日/H23.7.19
- 土 質/沖積・埴壤土
- 備 考/+5処理～ノビエ3葉期の各処理とも除草効果は極めてあり、葉害もなく有望である。

■チャンスタイムZ1キ口粒剤 平成25年 植調上川試験地



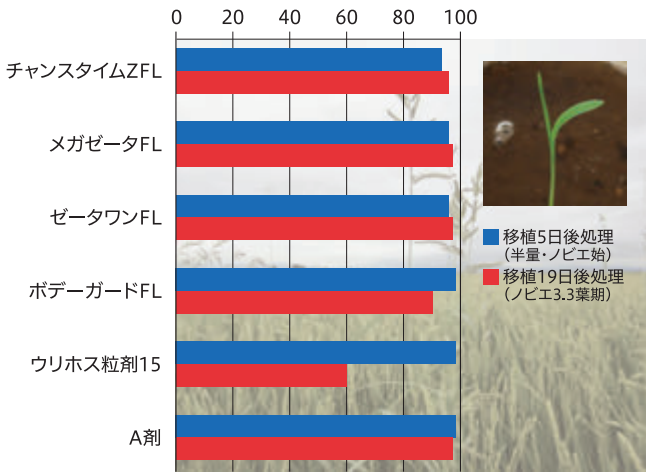
- 品 種/ほしのゆめ
- 代かき日/H23.5.16
- 移 植 日/H23.5.23
- 調 査 日/H23.7.23
- 土 質/沖積・埴壤土
- 備 考/+5処理～ノビエ3葉期処理までの各草種には高い除草効果があり、葉害は軽微なことから砂壤土の適用は有望である。

各種試験成績

社内試験成績

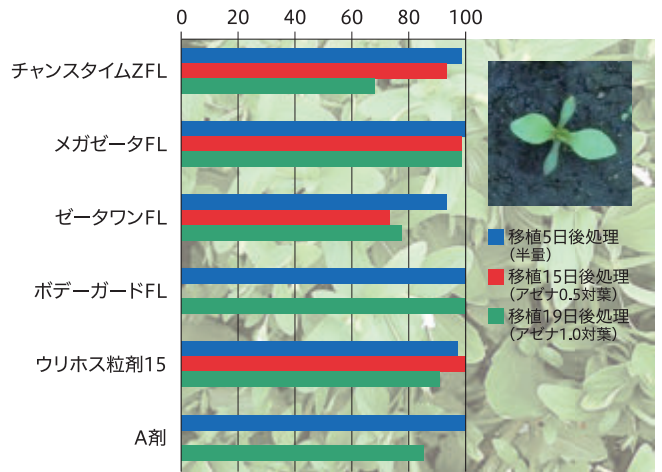
タイヌビエ

ホクサン(株)農業科学研究所実施
●試験地/北広島市輪厚 ●移植日/H24.5.25 ●調査日/H24.8.2



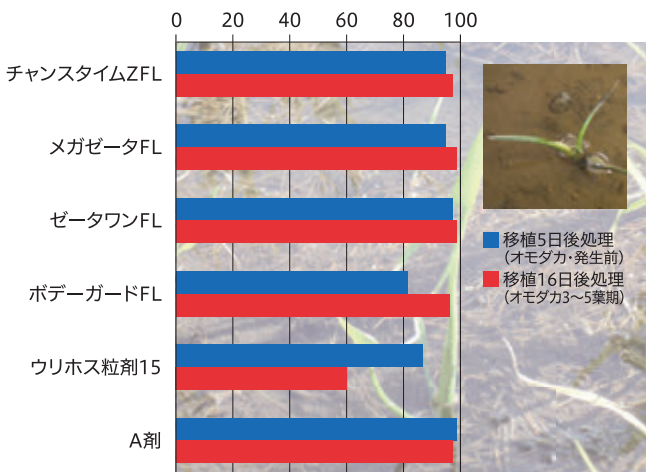
アゼナ

ホクサン(株)農業科学研究所実施
●試験地/北広島市輪厚 ●移植日/H24.5.25 ●調査日/H24.8.2



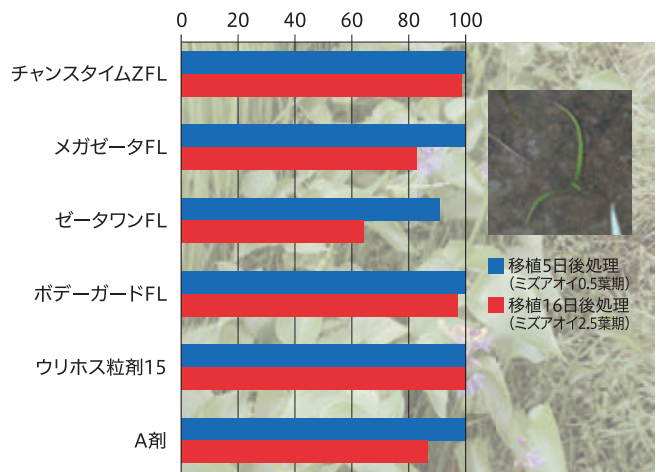
オモダカ

ホクサン(株)農業科学研究所実施
●試験地/北広島市 ●移植日/H24.5.28 ●調査日/H24.7.30



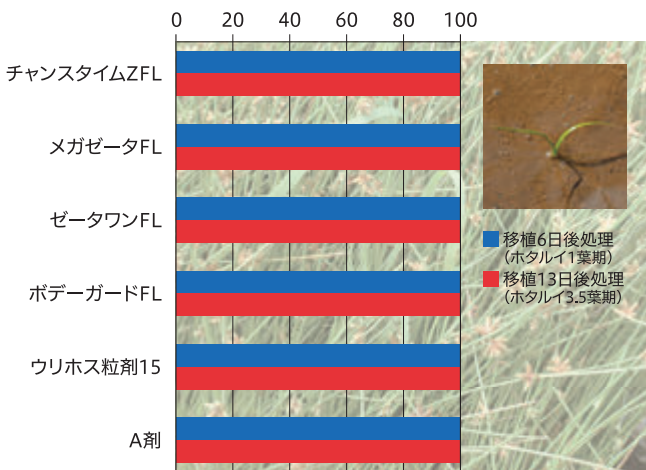
ミズアオイ

ホクサン(株)農業科学研究所実施
●試験地/北広島市 ●移植日/H24.5.28 ●調査日/H24.7.30



ホタルイ

ホクサン(株)農業科学研究所実施
●試験地/栗山町 ●移植日/H24.5.30 ●調査日/H24.7.25



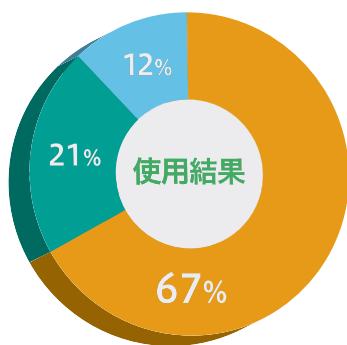
※オモダカに対し有効ですが、密度が多い場合には
体系処理をお奨めします。

※除草効果/0(無)~100(完全枯殺)
90以上で極大の効果

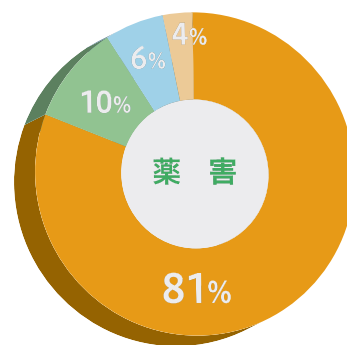
ホクサンモニター試験一覧(平成25～26年試験)

試験地 (品種)	平成25年						平成26年					
	今金 (ふっくりんこ)	蘭越 (ななつぼし)	岩見沢 (ゆめびりか)	栗山 (きらら397)	新篠津 (きらら397)	雨竜 (ななつぼし)	長沼 (おぼろづき)	和寒	東鷹栖 (きらら397)	雨竜 (ゆめびりか)	月形	
育苗形式	成苗	中苗	成苗	成苗	成苗	成苗	成苗	中苗	成苗	成苗	成苗	
代かき 移植日	5/24 5/28	5/17 5/24	5/19 5/24	5/24 5/30	5/17 5/26	5/25 5/28	5/16 5/20	5/17 5/23	6/4 6/9	5/13 5/21	5/20 5/25	
散布方法	ラジボー	手振り	手振り	手振り	ラジボー・手振り	手振り	手振り	手振り	手振り	手振り・RCヘリ	手振り	
試験区薬剤 慣行区薬剤	チャンスタイムZFL メガゼータFL	チャンスタイムZFL メガゼータJ	チャンスタイムZFL B剤	チャンスタイムZFL メガゼータFL	初期剤 →チャンスタイムZFL 初期剤 →メガゼータFL	初期剤 →チャンスタイムZFL 初期剤 →メガゼータFL	初期剤 →チャンスタイムZFL 初期剤 →C剤	初期剤 →チャンスタイムZFL 初期剤 →ピラクロエースFL	チャンスタイムZFL ウエスFL	初期剤 →チャンスタイムZFL 初期剤 →D剤	ピラクロンFL →チャンスタイムZFL ピラクロンFL →E剤	
薬量 (mlg/10a) (上:試験区/下:慣行区)	500 500	500 400	500 500	500 500	300 → 500 300 → 500	500 → 500 500 → 500	500 → 500 500 → 500	500 → 500 500 → 500	500 500	500 → 500 500 → 250	500 → 500 500 → 250	
一発剤処理日 (上:試験区/下:慣行区)	6/4 6/4	6/6 6/7	6/3 6/2	6/10 6/10	6/10 6/10	6/11 6/11	6/10 6/10	6/9 6/9	6/18 6/18	6/3 6/3	6/6 6/4	
調査日		7/5		8/23	7/8	8/7	6/30	8/4	7/23		7/10	
ノビエ	○	●	○		○		○	○	●			
ホタルイ	○	●	●		○				○	●	●	
ミスアオイ	○		●	●	○	●		○	○	○		
アゼナ		●			○			○	○			
オモダカ		●	●	●	○		○		○		●	
エゾノサヤサカグサ					○			●	○			
オオアブノメ					○				○			
ハラオモダカ		●	●		○				○			
ウリカワ		●			○				○			
ヒルムシロ			●		○				○			
セリ					○			○	○			
マツバイ					○				○			
タウコギ		●			○				○		●	
シズイ			●		○				○			
ミソハコベ					○				○			
ミスハコベ					○							
表層はく離								○			●	
対慣行	同等	優る	優る	優る	同等	優る	同等	優る	同等	同等	優る	
薬害と回復速度 (上:試験区/下:慣行区)	無 無	無 小	無 無	微(早) 微(遅)	無 無	微(早)	無 無	無 無	無 無	無 無	無 無	
使用結果	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	
普及性	どちらでもない	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	
備考	YES!cleanに採用されれば使用を検討する。メガゼータと比較して、散布跡が見やすく処理しやすい。	YES!clean米に対応できれば使用したい。	試験区の水田は雑草の見本田のような所だったが、99%の雑草が無くなった。	処理時に露状になったが付着による薬害は無く、色抜けや生育遅れも回復した。薬害の心配は殆どないと思う。例年よりミスアオイ、オモダカが残っており一発剤には厳しい年だったが、試験薬剤の方が効いていたと思う。	十分な効果がありローテーションに加えようと思う。ラジボーで散布したが、畔にぶつけない様、中心部分を多く撒いたのか、畔際にヒエが出た所があった。	薬害はポートの散布跡が見える程度の色抜けて、回復は早かった。来年、使用したい。	効果は慣行区と同等だが、チャンスタイムZフロアブルは広がりが良く散布しやすかった。付着害が無い点も良い。	水口の周りにミスアオイが小さいもので10本くらい生えていたが、他の雑草は全くなかった。今までの試験の中で一番効果が高かったと思う。	今までの除草剤とのローテーションで使いたい。	効果に満足。来年は半分くらいチャンスタイムZを使用したい。	慣行区は後半にホタルイが発生した。試験区では抑えていた。	

■表記方法 ●…対照剤より優る ○…対照剤と同等



満足
どちらともいえない
不満足



無
微
小
中
大
無回答

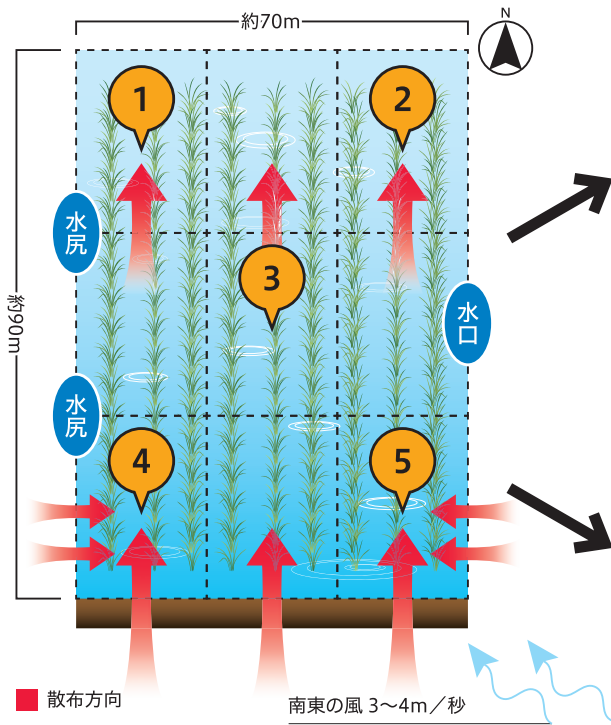
チャンスタイムZフロアブルは慣行剤と比較し、同等以上の効果が期待できることを確認しました。

各種試験成績

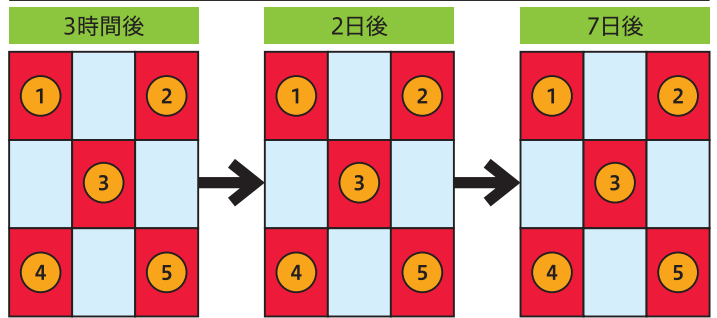
拡散性試験

チャンスタイムZフロアブルの拡散性に関する検証は実施済みです。本剤をノズル散布し、3時間後、1日後、2日後、3日後、7日後に採水し、ホクサン(株)農業科学研究所にて分析を実施しました。

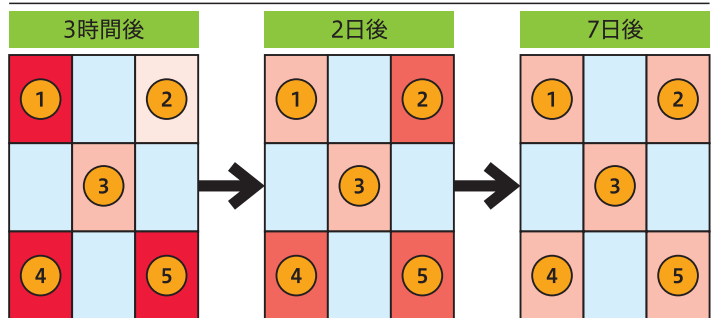
■試験地/栗山町(農家圃場) ■散布日/平成26年5月28日



DTP(ピラゾレート由来の殺草成分)



プロピリスルフロン



成分濃度 ■ 100~76% ■ 75~51% ■ 50~26% ■ 25~0%
※拡散性は理論濃度比より算出

結果

3時間後までは両成分ともに拡散ムラが見られましたが、2日後までには均一に拡散したことが確認されました。その後7日目に至るまでに土壌吸着が進み、順調に処理層の形成が進みました。特にピラゾレート由来のDTP(殺草成分)は水溶性が高く、高濃度のDTPが3時間後から検出されました。

これらのことから、チャンスタイムZフロアブルの拡散性は良好であり、ノズル散布による処理においても問題無く使用可能であるとの結論に至りました。

除草効果

薬剤	チャンスタイムZフロアブル	メガゼータフロアブル
薬量(ml/10a)	500	500
調査日	平成26年7月16日	
ノビエ	●	●
ホタルイ	●	●
ミズアオイ	●	●
オモダカ	●	●

●:非常に効果が高い

調査は水田を水尻側、水口側に分け、それぞれ3地点の調査を行った。

チャンスタイムZフロアブルの良好な拡散性と、ノビエ、ミズアオイ等各種雑草に対する高い効果を確認しました。

薬害について

黄化現象について

チャンスタイムZフロアブル、1キロ粒剤は、含有するプロピリスルフロロンに起因する黄化症状が発生する場合があります。一方薬液の付着による薬害リスクは小さく、フロアブル剤はノズルによる散布も可能です。



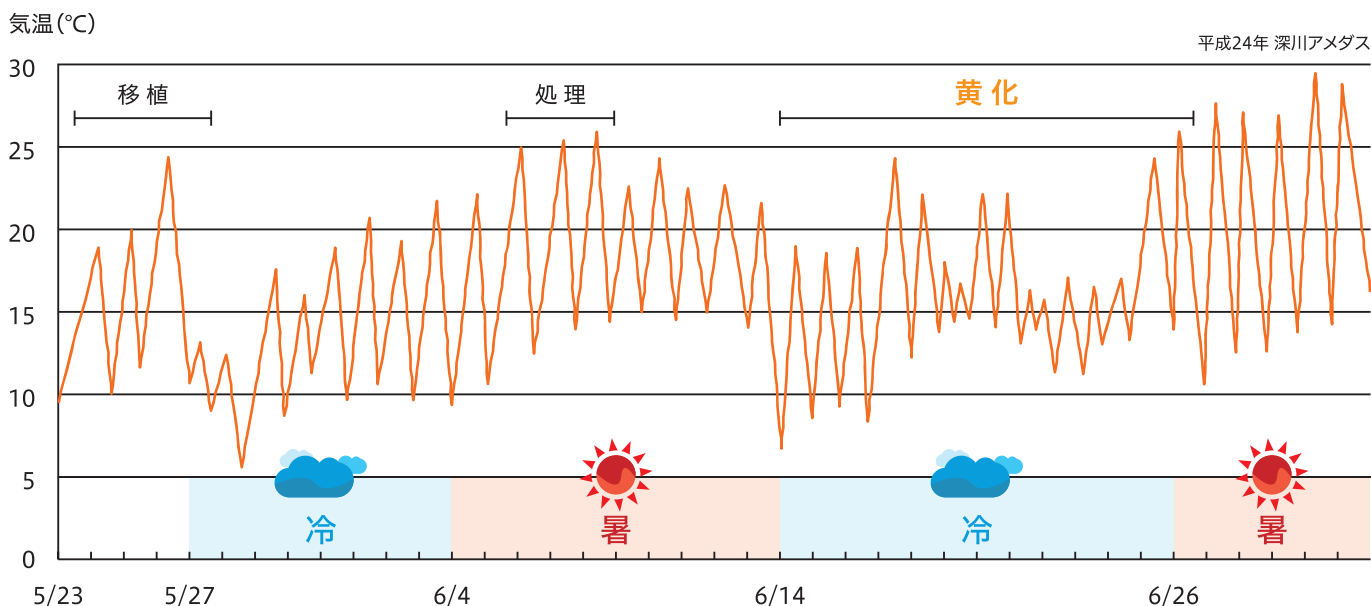
散布後、プロピリスルフロロン等SU系成分が稲体に多量に取り込まれるような条件では、代謝が追いつかず、稲の葉身が黄化することがあります。この症状は一般的に散布後1週間程で現れますが、代謝が進むとともに通常の生育に戻り、新葉への影響も認められません。

なお、この症状による**収量への影響は認められておりません。**

要因としては土質(砂質土壌の水田及び漏水の大きな、減水深2cm/日以上の水田)や移植した苗の健康状態、移植時の極端な浅植え、気象などが挙げられます。



水田の準備を春先にしっかり行いましょう。



薬剤処理時期が高温で推移し、処理後急激に気温が低下するような条件下では特に黄化が発生しやすくなります。事前に天気予報をよく確認し、散布の計画を立てましょう。

薬害について

チャンスタイムZフロアブル 付着による影響観察

ホクサン(株)農業科学研究所実施 ■試験地/北広島市 ■移植日/平成25年5月29日



ノズル散布試験

チャンスタイムZフロアブルは付着薬害の発生しにくい除草剤です。平成25年度試験において、付着薬害の影響は確認されませんでした。

試験地 (品種)	厚沢部 (ふっくりんこ)	厚真 (ななつぼし)	粟沢 (ななつぼし)	イチャン (ふっくりんこ)	旭川 (ななつぼし)
育苗形式	中苗	中苗	中苗	成苗	成苗
代かき 移植日	5/20 5/25	5/17 5/23	5/8 5/16	5/11 5/26	5/13 5/24
試験区薬剤 慣行区薬剤	初期剤 →チャンスタイムZFL 初期剤 →メガゼータJ	チャンスタイムZFL C剤	初期剤 →チャンスタイムZFL 初期剤 →メガゼータFL	初期剤 →チャンスタイムZFL 初期剤 →D剤	チャンスタイムZFL F剤
薬量(mL/g/10a) (上:試験区/下:慣行区)	500	500 500	500 → 500 500 → 500	500 → 500 500 → 250	500 500
一発剤処理日 (上:試験区/下:慣行区)	6/10 6/10	6/5 6/5	6/1 6/1	6/10 6/10	6/2 6/2
調査日		7/25	7/25		
ノビエ			○	○	●
ホタルイ	○		○	○	
ミスアオイ		○			●
アゼナ					
オモダカ	○		○	●	○
エソノサヤヌカグサ					
オオアブノメ					
ハラオモダカ					
ウリカワ	○				
ヒルムシロ					
セリ					
マツバイ					
タウコギ					
シズイ	○				●
ミソハコベ					
ミスハコベ					
表層はく離					
対慣行	同等	同等	同等	優る	優る
薬害と回復速度 (上:試験区/下:慣行区)	無 無	微 微(早)	無 無	無 無	微(早) 微(早)
使用結果	満足	満足	満足	満足	満足
普及性	ある	ある	ある	ある	ある
備考	田植え後に初期剤を使用したため、試験区も慣行区も差はなかった。	雑草はそのまま残っても刈り取りに問題がない。	メガゼータFLは飛びづらく散布しにくい。チャンスタイムZFLは散布性が良好だった。	2ℓの大型容器を希望。	

■表記方法 ●…対照剤より優る ○…対照剤と同等

薬害はいずれも黄化症状(回復性)であり、付着薬害の発生は確認されませんでした。
また、ノズルを使用することによる効果への影響も確認されませんでした。

注意事項

チャンスタイムZ フロアブル、チャンスタイムZ 1キロ粒剤に関する共通の注意事項

- 使用量に合わせて秤量し、使い切ってください。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布して下さい。
- 苗の植付けが均一となるように、整地、代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は特に代かきをていねいに行ってください。
- 下記のような条件では初期生育の抑制やクロロシスが生ずるおそれがあるので、使用を避けて下さい。特にこれらの条件と散布時又は散布後数日間の異常高温が重なると初期生育の抑制が顕著になるので、そのような条件下では使用しないように注意して下さい。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植の水田
 - ④植付精度不良で根が露出する水田
- 本剤使用前に、活着遅延を生ずるような異常低温が予測されるときは、初期生育の抑制などが生ずるおそれがあるので、このような条件下での使用に際しては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布後数日間著しく高温又は極端な低温が続く場合、クロロシスを生じ初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 葉害を生ずるおそれがあるので他の作物に飛散しないよう十分に注意して下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。

チャンスタイムZ フロアブルに関する注意事項

- 使用前に容器をよく振って下さい。
- 所定の使用量を厳守して下さい。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの3葉期(砂壤土はノビエの2.5葉期)までに時期を失しないように散布して下さい。なお、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果のふれが出るので、必ず適期に散布するように注意して下さい。ホタルイ、ウリカワは2葉期まで、ヘラオモダカは3葉期まで、オモダカ、エゾノサヤヌカグサは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、一年生雑草であるミズアオイは2葉期までが本剤の散布適期ですが、できるだけ早く散布することが望ましいです。オモダカは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 散布に当っては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布して下さい。散布後は少なくとも7日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、田面を露出させないようにし、落水、かけ流しはしないで下さい。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 散布後は水管理に注意して下さい。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

チャンスタイムZ 1キロ粒剤に関する注意事項

- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように散布して下さい。なお、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果のふれが出るので、必ず適期に散布するように注意して下さい。ホタルイ、ウリカワは2葉期まで、ヘラオモダカは3葉期まで、オモダカ、エゾノサヤヌカグサは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、一年生雑草であるミズアオイは2葉期までが本剤の散布適期ですが、できるだけ早く散布することが望ましいです。オモダカは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 散布に当っては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも7日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、落水、かけ流しはしないで下さい。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

●ラベルをよく読む。 ●ラベルの記載以外には使用しない。 ●小児の手の届くところには置かない。